

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームひだまりの丘 ほたるの家	評価実施年月日	平成 21年 9月 20日
評価実施構成員氏名	武田 俊美 戸城 美人 佐々木 圭 大西 久美子 西出 慎也 作間 玲子 宮成 千恵 佐々木 奈美枝		
記録者氏名	武田 俊美	記録年月日	平成 21年 10月 25日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	地域密着型としてのほたるの家独自の理念を作り上げています		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎朝のカンファレンスで実践に向けて理念の共有について話し合っています 安心と安らぎのある生活を維持していきたいと思っています		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族へは毎月のほたる通信で内容を掲げ送付しています また面会時に計画書の説明をし、意見や要望を伺っています 地域からのボランティアの受け入れや、運営推進会議の場で取り組みを報告するようにしています		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	今年は、南沢神社の祭で子供神輿がホームの敷地まで入って入居者と交流を図りました また幼稚園児の来訪もありました		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会の行事にはできるだけ参加をするようにしています(ゴミ拾いなど) またラベンダー祭、AED救急研修等に」参加しています		
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	3名の管理者はじめ職員は地域の行事や研修会、会合への参加を通して認知症ケアの啓発に努めています また、人材育成の貢献として札幌市からの認知症介護実践者研修の実習生の受け入れを行なっています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員で自己評価に取り組んでいます 外部評価の結果については、職員の研修や改善の機会として捉えケアの向上に活かしています</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月毎に計画的に開催し、サービス提供の内容報告を行うとともに、地域やご家族からの意見を検討し次回に報告するなどしています</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>市や区で構成する管理者会議に出席しグループホームの質の向上に取り組んでいる 認知症介護実践者の実習生の受け入れを行っています</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>必要とされる入居者様には情報提供ができています今後必要な方のためにさらに職員も勉強会などに参加し学ぶ機会を持ち続けてます</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>内部、外部の勉強会する機会を持ち虐待のないケアの実践を徹底しています</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入居時に契約書をもとに重要事項を説明し同意を得ています また、グループホームでの生活が継続できなくなった場合はご家族と相談し納得して頂いた上で契約を解除しています 退去後の不安のない医療機関などの紹介を行っています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	困ったことや心配事など利用者が不満や苦情を言いやすいような雰囲気作りや声掛けをしています		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月家族便りなどで現在の報告をし電話などでも様子を知らせています 金銭出納帳など送付しています 時々メニュー表も添付しています		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議への家族の出席や年1回家族アンケートを実施し、アンケート内容を踏まえケアの改善や見直しに反映するようにしています		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回法人内で自己評価が実施され職員の意見を聴いています 働きやすい環境にするように職員も意見を言える機会があります		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	各ユニットに常勤が7名、他にひだまりの丘で非常勤のスタッフ2名採用し無理のないローテーションを組んでいます		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	最小限の異動にとどめているが、突発的であったり短期的で異動がある場合には入居者への影響が少ないように配慮しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ひだまりの丘では、接遇やケアプラン等の内部研修を実施し、法人外の外部研修へも積極的に参加しています		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	札幌市や、区の協議会などで情報交換はできている カンファレンスなどで職員間で共有しケアに生かしています		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	日常や面談時な、職員のストレスや悩みを把握するように努めるとともに無記名でアンケート調査を行いその対応等についても委員会で検討している 年に一度全グループホームの職員の親睦会を行い気分転換や情報交換の場としています		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	内部、外部の研修会の情報を共有し、参加できるように勤務調整を行っています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に本人と面談を必ず行っている 又自宅前の施設へ行き、生活状況等確認しています		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前には時間をかけお話をうかがっている さらにご家族とは見学後にもう一度面談を行いご家族が求めているサービスがグループホームとして可能なかを確認をおこなったうえで契約をしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	これまで受けていたサービスなど事前に情報収集し、本当に始めに必要な支援を見極めています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居者様は御家族と話し合い納得されてから入居されています。今まで家庭で使われていた家具や、家族の写真を持参され、入居後は、家族のサポートを受け安心され生活されています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	日々のレクリエーションや生活リハビリ、コミュニケーションを通して出来ています 地域のボランティアをもっと活用したいと思います今は手芸と生花を活用しています 同じ時間を共有する者として共に支えあう関係を築いていきたいと常に思っています		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族とのコミュニケーションを密にとることで支えていく関係を築いています 年 2～3回行事を通してお食事会をしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの情報を共有し支援している ご家族様と一緒に作っていくGHでありたいと思っています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みのスタッフが異動で見えなくなると心配されている利用者がおられ、きちんと説明し納得されています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	お互いに悩みを相談したり、聞き役に回ったりされています 日中ほとんどの時間をリビングで過ごされることが多く、ゆっくりできる雰囲気作りに努めたいと思います		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居されても相談の電話が入ることもあり、最後までいい相談相手でありたいと思っています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にしています 本人が言えない時は自分達ならこうして欲しいと考えてケアを行っています		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族から生活歴を聞き、混乱している時は今どこの部分にタイムスリップしているかを、おしはかり話を合わせるようにしています ご家族や本人から沢山アセスメントしておきたいと思います		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	身体の状態、精神状態、お天気の状態などで一日の過ごし方を考えています 夏はできるだけ外出や散歩の機会をもち、気分転換をして頂いています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族や関係者と良く話し合い利用者主体の介護計画を作成する努力しています 利用者様に説明しサインをいただいています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的に見直しを行い、その際に入居者、ご家族の要望をとりいれています		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	必要な項目が出た場合にはプランに追加をしまた、個別にファイルをし、記録とケアの実践を行っています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	医療連携体制をとっており、24時間訪問看護ステーションと連携をとれる体制になっています また同意のもと訪問診療をおこなっています 主治医は、24時間対応でグループホーム生活を支えています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域のボランティアさんを活用しています 生花、音楽療法、民謡教室、手芸教室など積極的に受けています		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	訪問移動美容室や訪問歯科等入居者の状況によって利用しています GHの継続ができなくなった時のためにほかの施設の情報提供も行っていきます		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括センターの職員の方が出席するようになり、相談できる体制にあります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問診療や健康管理を受けており、その際に気軽に相談しやすい体制ができています		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	訪問診察を受けており、24時間連絡が取れる体制になっています		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護ステーションより週に一回決まった看護師による健康相談を行っています		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関の情報や家族からの情報をもとに早期退院に努めています		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	平成18年5月に「重度化した場合における対応指針」に関する説明を法人がご家族様に説明し同意をいただいています ご家族と繰り返し話し合い、入院され見送ったケースがあります		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医と相談のもとでホームでの生活の限界を見極め、急変の場合は医療機関にすぐに対応してもらっています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	家族とも話し合いをし、移り住む先にも情報を提供し、十分な情報交換を行っています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	すべての職員が入居者様のプライバシーの漏れがないように徹底したケアを行っています 本人のプライドや羞恥心を大切にしています	○	慣れによる言葉遣いや対応に乱れがみられ尊厳をもって接するよう意識付けを徹底したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	レク等のご本人の趣味、したい事に合わせてそれぞれが行い、その支援をしている 職員の押し付け出なく、本人の意思で自由に参加をしています		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	時間で生活するのではなく、本人のペースに合わせて日々を暮らせるように支援している 起床時間や食事はその時によって体調を考慮し支援しています		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	移動美容室を利用し髪の長さ等本人の希望を聞いてご本人の意向に沿う様支援しています 身だしなみや、衛生面は毎日さりげない見守りや声かけを行い支援しています また、お化粧品、マニキュア、手のあれにも気をつけています		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のできる範囲で食事の準備や片付けのお手伝い、五感を刺激しながら作る楽しみを味わって頂いております		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつのおよみの聞き提供しています 水分が進まない利用者には、好みの飲み物に変えたり、個々に購入しています		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	オムツ使用の利用者の方にも排泄の声掛けをし、トイレでの排泄を行なっています 人として食ふこと排泄することは最後まで御自分で出来るよう支援したいと心がけています トイレ時その人の羞恥心を大切にしています		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者一人ひとりの希望に合わせていつでも入れる様に随時行っています 今 掃除が終わったところでも気が変わり入りたいと言ってきたら再びお湯を入れる時もあります		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者一人ひとりの生活習慣に合わせて(リビングや居室)好きな場所での休息が出来る様に支援しています また、足浴も行っています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	お願いできそうな仕事を頼み終わった後は必ず感謝の気持ちを伝えていきます		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人の買い物に職員が同行し品物は御自分で選び支払いも御自分でされ満足されています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気やその日の健康状態なども考慮し買い物や散歩に出かけています		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	動物園や花火大会で行きたい方の希望をとり、歩行状態や、趣味に合わせて支援しています。 また、コンサートや、孫の結婚式など家族の協力のもと、出かけられています	○	入居者様の行きたい所・行ける場所を探して、事前に下見をし出かける機会を提供しています
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	本人の出来ることに合わせて支援しています 年賀状は毎年欠かさず出しています 御家族からのFAXを楽しみにしている人がいます		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	常にオープンにしており、いつでも訪問出きることを御家族様には声掛けをしています いつも笑顔を忘れず対応するように心がけています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	自立支援のためベットの柵を使用していますが身体拘束はしていません 日々身体拘束をしないケアについて話し合っています		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	施錠することの弊害を職員は理解しています 見守り出来る時間帯は開錠していますが2階で入り口より階段があり帰宅願望や徘徊のある利用者様の安全が確保出来ない時もあり、時間帯によっては鍵をかけています またユニット間は自由に行き来できるように開錠し、外部からの侵入者等のため自動ドアは施錠しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中はさりげなく利用者の行動を見守っています また、夜間は時間を決め安全確認をおこない夜勤者は居場所の工夫をしています		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個人物品は利用者一人ひとりの状態に応じて対応しています 洗剤や漂白剤、薬品類は収納庫に鍵を掛け保管しています		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	緊急時の対応マニュアルを作成し見やすい所に掲示し、また、日々事故の防止について話し合っています		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当マニュアルを見やすい所に掲示しています 職員が判断に迷うときには主治医や訪問看護ステーションに相談をし指示を仰いでいます		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年3回法人の担当者の指導のもと防火訓練を実施しています		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居時に話し合っています レベルが落ちた時なども医師やご家族と話し合うようにしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の状態を理解し、いつもと違う時には主治医や訪問看護ステーションに相談し医療機関を受診するなどしています		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの薬の内容を理解し事故がないように十分に注意をはらっています。また新しく処方された薬は、くすり辞典などを活用し、副作用など調べ職員間で共有しています		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食物繊維質や乳製品(朝の牛乳やバナナ)を多く摂ったり体操や散歩等で身体を動かすようにしています		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後個々に応じて支援を行い、夕食後預かりポリデントをしています		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日中絶えず水分補給に気を配っています 一人ひとり食べれる量を食べられるだけの盛り付けにしています		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いや消毒液を職員や、来訪者にもお願いしています チェックシートを作成し毎日、衛生面を徹底しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板、ふきんなどは3度殺菌し食洗機で高熱殺菌し使用しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関には活花や壁掛けを置いたり工夫をし、明るい雰囲気作りをしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部は清潔感をもち、手芸教室で作成した作品や、生け花を利用者と一緒に飾っています また季節ごとに作成しているちぎり絵を飾り、季節感をあじわっていただいています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関ホールにイスやお花を置き、リビングでは1人掛けソファがあり、また3人掛けのソファでは仲の良い同士で会話を楽しむことが出来る環境作りをこころがけています		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に家具類は馴染みの物をもってきていただき、その人の今まで通りの生活を続けています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調設備も整っており、外気温との差も少なく利用者に応じて行い、備長炭や芳香剤を置いて臭気を感じないように、また、冬場には加湿器で湿度の調整もしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>段差や手すり、家具の配置など目が行き届いており自立した生活が送れています</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口にご本人の作品を目印につけるなどしています</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>テラスと中庭には芝がはってあり、これを利用しお茶会や夏祭りなどを行っています。畑で家庭菜園も行い、散歩の途中にトマトを収穫していました</p>	

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ②
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
 なにも束縛せず、ご自分の家のように自由に生活していただいています。その中で毎食の食事や、おやつ時間は、時間を決め皆様に食べていただいております。また希望者には、地域のボランティアさんの協力のもと、生け花教室、手芸教室、民謡教室などアクティビティの時間を積極的に取り入れております。